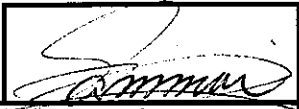


デイリーレポート

船長署名



船 名	大 島 丸		情報発信日時	2024 年 12 月 15 日 12 時 00 分			
現 在 位 置	航海中	12 時 00 分	概位		来島海峡 西口		
		<Lat. 34 - 9.4 N/S Long. 132 - 55.3 E/W >					
	停泊中	時 分	概位				
		<Lat. - N/S Long. - E/W >					
	錨泊中	時 分	概位				
		<Lat. - N/S Long. - E/W >					
	操業中	時 分	概位				
		<Lat. - N/S Long. - E/W >					
	観測中	時 分	概位				
		<Lat. - N/S Long. - E/W >					
本船状況 気象海象	針路：	84 度	船速：	12.5 kt	天候：	bc	
	風向：	West	風速：	11.0 m/s	視界：	7 浬	
	波高：	1.0 m	風浪階級：	4	うねり階級：	0	
乗船者 状況	乗組員	現在員：	19 名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：					
	生徒	現在員：	13 名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：					
	指導教官	現在員：	3 名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：					
	支援員	現在員：	1 名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：					
○本船動静 12月14日19時00分 松山港外投錨 12月15日10時05分 同地抜錨 ○予定変更理由 Nil							
【学校側コメント】 昨日は、10時に蓋井島の南東方の漂泊エリアを発して関門海峡第2航路へ。思いの外、行き交う船舶は少なく、航路に入る時は前方に同航する船舶が一隻の状態でした。しかし、それも束の間、巖流島手前の大瀬戸を回り込んで関門海峡大橋を左前方に見ようになると反航して来る船舶が多数。実習生は相手船が掲げている旗の意味を読んだり、時間の経過とともに遅くなってくる潮流速を電光掲示板で確認したり、周囲に眼をこらして見張り員としての職務を遂行すべく集中して取り組んでいました。 関門航路通過後は周防灘の推薦航路に沿って東航。ここでも反航船や、推薦航路の分岐点では横切り船の動向に眼を配り、適用される法規を実際の場面の中で理解する。航海当直に入った実習生には良き勉強になったと思います。19時に松山港沖でアンカーを入れて、この日の航海は終了しました。 本日は、坂出港外向け10時に抜錨しました。これより正午過ぎに来島海峡航路を通過します。来島海峡航路は通過時の潮流の向きによって通る水道が決まる特殊な航路です。その様子、その後通過予定の備讃瀬戸南航路の様子等は明日のコメントでお知らせいたします。							